

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

JOSAI INTERNATIONAL CENTER for the Promotion of Art and Science (JICPAS)

学校法人 城西大学

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

☎ 03-6238-1300

http://www.josai.jp/

Newsletter

Josai University Educational Corporation

3-26 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo ☎ 03-6238-1300 http://www.josai.jp/

No.15



本学水田記念ホールで厳かに行われた式典



Dato' Sri Dr. Ng Yen Yen 観光大臣スピーチ

9月4日、城西国際大学千葉東金キャンパス水田記念ホールにて、2012年度秋季卒業式・名誉博士記授与式を挙行了しました。当日は、卒業生に学位記が授与されたほか、マレーシアのDato' Sri Dr. Ng Yen Yen 観光大臣に本学名誉博士記が授与されました。Dato' Sri Dr. Ng Yen Yen 観光大臣は、

マレーシアの観光振興に注力し多大な功績を収め、同国の発展や文化学術交流の促進への貢献のみならず、グローバル社会におけるアジアの時代への先駆的な女性リーダーとして高く評価されています。また、多民族共生を見据えての女性の高等教育普及と活躍の場の拡大に関する多くの提言を行い、社会の発展

名誉博士記

2012年度秋季卒業式・名誉博士記授与式を挙行

日時…2012年9月4日
場所…城西国際大学

名誉博士記



Dato' Sri Dr. Ng Yen Yen 観光大臣の名誉博士記授与を記念して陽光桜を植樹しました



大学院・学部・留学生別科の卒業生に学位記が授与されました

に寄与されています。さらに、本学と同国との国際交流プログラムの構築にも尽力されま



Louis Lemkow 博士に名誉博士記を授与する水田理事長



飯田加奈恵看護学部長より白衣が授与されました

入学式・看護学部開学式・名誉博士記授与式を挙る

日時…2012年4月3日
場所…城西国際大学

名誉博士記

4月3日、2012年度入学式・看護学部開学式・名誉博士記授与式を城西国際大学千葉東金キャンパススポーツ文化センターで挙行しました。

名誉博士記授与式では、大学の国際交流

した。Dato' Sri Dr. Ng Yen Yen 観光大臣の名誉博士記授与を記念して、薬学部棟のそばに、鮮やかな花を咲かせる陽光桜を植樹しました。

また当日は、大学創立20周年を記念し

て、PRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK（高田宮殿下記念スポーツパーク）に、地元の行木様よりご寄贈いただいた楠を植樹しました。

中国 東北大学より名誉教授を授与

日時…2012年9月5日
場所…東北大学、中華人民共和国

名誉学術称号

2012年9月5日、中国・瀋陽を訪問中の学校法人城西大学の飯田宗子理事長は、中国の東北大学より名誉教授を授与されました。

本学と東北大学は2010年8月に学術交流を締結し、以降さまざまなたちで学生や教員の交流を積極的に行っていました。この6月にも城西国際大学国際人文学部の学生が東北大学で研修し、8月には東北大学から10名の学生が城西国際大学で日本文化研修を受けました。そして、今年4月に行われた城西国際大学創立20周年記念の世界学長会議にも、東北大学から王福利副学長が出席されました。また、2010年に両大学と大連理工大学、大連外国語大学の連携による日中連携大学院を開設、本学での集中講義を含めてこれまで多くの留学生が本学で学んできました。

今回の名誉教授授与は、これらの活動を通じて両校の交流に対する水田理事長の貢献・実績が高く評価されたもので、授与式では両大学の関係者が出席する中、東北大学の王福利副学長より名誉教授証書が贈られました。

授与を受け、水田理事長は「東北大学からこのような栄えある名誉教授の称号を授与いただき、大変光栄です。今後も両校の発展に

学名誉博士記が授与されました。
また、今年度新設された看護学部の新入生に対し、飯田加奈恵看護学部長より白衣が授与されました。

当日は多数のご来賓・保護者の方々にご臨席をいただき、新入生の入学を祝いました。

力を尽くしてまいります」と挨拶しました。

なお、今回の授与により、水田理事長がこれまで他学から受けた名誉学術称号は中国・華南師範大学名誉教授、韓国・東西大学名誉博士、ハンガリー共和国・セント・イシュトバーン大学名誉博士に次ぐ四つ目となります。



授与式で挨拶する水田理事長

美術活動

「高田宮妃久子殿下特別展」

オープニングセレモニーで妃殿下がご来学

日時…2012年9月18日

場所…城西大学

美術活動



妃殿下によるテープカット

城西大学水田美術館では2012年9月19日から「高田宮妃久子殿下特別展 空翔ける鳥、旅する根付」を開催中ですが、開催に先立ち、9月18日にオープニングセレモニーが妃殿下のご臨席のもと城西大学にて行われました。

指して2011年12月に同美術館を開設しました。今回の特別展は、その開設記念事業の一環として企画されたものです。

高田宮妃久子殿下は、バードウォッチングを趣味とされ、国内外を旅行される折には鳥たちの一瞬の姿をカメラのファインダーにおさめてこられました。また、NGOバードライフ・インターナショナルの名誉総裁として、鳥類環境保全を訴え続けておられる妃殿下



特別展をご内覧

下が撮影される写真には、厳しい自然の中で懸命に生きようとする姿や、時に見せる心温まるような愛らしい表情といった、実にさまざまな鳥たちが写しだされています。

また、妃殿下は根付のコレクター、研究者としても功績を上げられてきました。根付とは印籠や煙草入れなどを着物の帯から下げるための留め具で、数々の技巧が凝らされた小さな伝統工芸品です。妃殿下は根付を宮邸の庭や国内外のいろいろな場所に連れ出し、自然の中に置いて撮影した写真を「旅する根付」シリーズとして発表されています。

本展覧会では、妃殿下がこれまで撮影されてきた野鳥の写真28点と根付の写真23点を選び、すぐて展示するとともに、妃殿下の根付コレクションの中から69点の現代根付展示も行っています。

オープニングセレモニーは、地域の皆さまや関係者、メディア等約150名を招いて美術館前で行われました。

セレモニーに先立って、学校法人城西大学の水田宗子理事長が挨拶し「このたび本学美術館において高田宮妃久子殿下特別展を開催することができ、大変光栄です。この展覧会を通じて、命の貴さや美しさを未来に伝えていきたいという妃殿下の思いを、皆さまとともに感じることができたら幸いです。また、そうした気持ちをついで、環境保全に取り組む人が育つためにも地域の多くの方々や学生たちに鑑賞してほしいと思います。そして『旅する根付』シリーズの写真や現代根付コレクションの数々により、根付の新たな魅力を発見していただけたと思います」と述べました。

セレモニーでは、妃殿下がテープカットを行い、続いて水田理事長のご案内により特別展をご内覧されました。そしてその後、美術館前にて本展覧会開催を記念して妃殿下による植樹式も行われました。

また、同日午後には、キャンパス内の清光ホールにて「根付の魅力——手のひらの宇宙に魅せられて——」と題された妃殿下による展覧会オープニングご講演が行われました。ホールは来賓の方々や学生たちで満員となり、皆妃殿下のお話に興味深く耳を傾けてい



ご講演の様子





セルダヘイ・イシュトバーン特命全権大使



世界各地で撮影された印象的な写真を多数展示しています

美術活動

『写真展 コーシャ・フェレンツの世界多元時空』

開会式を挙行

日時…2012年9月25日
場所…城西国際大学

9月25日、水田美術館『写真展 コーシャ・フェレンツの世界多元時空』の展示開催に先立ち、開会式を行いました。

コーシャ・フェレンツ氏は、『一万の太陽』でカンヌ国際映画祭最優秀監督賞に輝いたのをはじめ、数々の賞を受賞し国際的に活躍す

ました。
その後、経営学部棟1階で妃殿下や来賓の方々が出席されたのレセプションが盛大に行われて、妃殿下のお言葉に続いて安藤裕康国際交流基金理事長、セルダヘイ・イシュトバーン特命全権大使、

ヴァーリンハンガリー大使、大本高仁文化庁文化部長にもご挨拶もいただき、オープニングセレモニーは盛況のうちに終了しました。
なお、本展覧会の収益金はすべて自然保護団体に寄付される予定です。

るハンガリーの代表的な映画監督です。写真家としても2002年、ブダペストの国立ギャラリーで写真展が開催されるなど、注目を浴びています。今回の写真展では、ハンガリーをはじめとする欧州、日本、アジア、アフリカやアメリカなど、世界各地で撮影され

国際交流活動

ポーランド大統領夫人が来学

日時…2012年4月12日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



講演される大統領夫人

2012年4月12日、ポーランド共和国アンナ・コモロフスカ大統領夫人一行が学校法人城西大学の東京紀尾井町キャンパスに来学し、水田理事長と会見しました。

た写真作品を紹介しています。
当日は、ハンガリー大使館よりセルダヘイ・イシュトバーン特命全権大使、コーシャ・フェレンツ氏のご子息であるコーシャ・バーリン氏、田中義具日本ハンガリー友好協会理事長、後援の外務省より河津邦彦

中東欧課長のほか、地域の皆様も多数来学され、コーシャ・フェレンツ氏が撮影した写真を鑑賞しました。また、本学に在籍しているハンガリー出身の留学生たちも開会式をサポートしました。

本学は、中期目標でグローバル人材の育成に向けた国際交流活動強化を掲げハンガリーやポーランドなどの中央ヨーロッパの国々との学術交流を積極的に深めており、本年2月にはポーランド大使も来学しました。今回の来学は初来日した大統領夫人の公式行事として実現したものです。今回は大統領夫人のほか、ポーランド人道アクション理事長のヤニナ・オホイスカ氏、ポーランド大統領局副局長、ポーランド大使が来学しました。

会見の中で水田理事長は、「東日本大震災時にはポーランドから日本への温かい支援と励ましの言葉をいただき、本当に感謝しています。これまで本学はポーランドと積極的に交流し、10月にはポーランドから留学生を迎えることになりましたが、今回の大統領夫人の来学により今後ますます交流を深めたい」と述べました。

大統領夫人からも「学校法人城西大学とポーランドの大学との交流が活発に進んでい

ると聞き、大変嬉しい。今後は城西大学からポーランドへの留学生も含めて、さらに両国の交流が活発になることを期待している」と話がありました。

会見後、地下ホールにて大統領夫人とオフィスカ理事長の講演が行われました。

最初に大統領夫人から、国連の「児童の権利に関する条約」制定の基となったポーランドの「こどもの権利の活動家——ヤヌシユ・コルチャック先生」に関する講演をしていただきました。大統領夫人は、こどもの権利の創始者であるコルチャック先生の思想と活動を紹介するとともに、夫人が推進している日本・ポーランド両国の団体等による東日本大震災被災者への支援活動「絆の架け橋」プロジェクトの活動内容についても触れ、「これを機会に、コルチャック先生やポーランドのことをぜひ深く知ってほしい」と述べました。

つづいて、オフィスカ理事長より「女性のリーダーシップとポーランド人道アクションの活動」と題した講演が行われました。ポーランド人道アクション（PAH）は、紛争・自然災害・貧困等により人道的支援を必要とする世界の国々に向いて活動を行う組織で、1992年の設立以来、コソボ紛争やチェチェン紛争、アフガニスタン等に使節団を派遣し、さまざまな人道支援を行っています。オフィスカ氏はその理事長として積極的に活動を推進しており、講演では同組織の設立目的や経緯、これまでの世界各国での活動内容に加え、昨年の東日本大震災で被災した気仙沼での幼稚園の再建活動等を具体的に紹介しました。

講演には福祉を幅広く学んでいる城西国際大学福祉総合学部の学生をはじめ城西大学からも多くの学生等が出席して熱心に講演に耳を傾け、質疑応答でも積極的に質問が出ていました。

そしてその後に行われたレセプションでは、海外からの留学生を含む両大学の学生たちが大統領夫人やオフィスカ理事長、大使らと和やかに歓談し、国際的な雰囲気の中で両国の交流と理解を深めました。

2009年が日本・ポーランド国交樹立90周年という節目の年だったこともあり、特に近年日本でのポーランドの歴史・文化・学術に関する関心が高まっています。本学でも、日本に大変馴染みの深いポーランドの偉人であるキュリー夫人のパネル展開催などが城西大学および城西国際大学で行われる予定です。本学は、ポーランドとは2011年9月にポーランド日本情報工科大学と学術交流協定を結び、同大学より初の留学生がこの10月に来学予定です。

今回の大統領夫人の公式訪問を機に、今後の本学とポーランドの大学との交流がより活発に進むことが期待されます。



大統領夫人一行との記念撮影

JOSAIグローバル女性人材育成プログラム

(JEWEL)大連研修を開催



日時…2012年5月3日～7日
場所…大連、中華人民共和国

学校法人城西大学は、城西大学50周年、城西国際大学20周年を記念して今年度から「JOSAIグローバル女性人材育成プログラム（JEWEL）大連研修」を始めました。このプログラムは、一般社会人女性や城西大学・城西国際大学の女子大学院生を参加対象者として、女性たちにグローバル社会で活躍する機会を提供し、さらに国際的視点やコミュニケーション力を育成しようとするものです。また、国際社会における女性の社会進出や地位の向上、ワークライフ・バランスも研修のテーマとなっています。

研修は、国内にて約1か月の事前研修後、本学と関係が深く成長著しい中国・大連にて現地研修を行い、帰国後は成果発表会を実施するという三段階のステップになっています。

現地研修は、5月3日～7日、5日間の日程で大連を訪問しました。大連市人民政府、大連市婦女連合会、大連理工大学の協力のもと、市政府の女性幹部・女性経営者との意見交換会、若者文化・衣食文化についての講義ならびに市場動向調査、美容整形センター、スーパーマーケットを訪問し、働く女性の視点から中国大連の政治、経済、文化を学びました。また、2003高地、旅順博物館、満鉄本社跡などを訪れ、日中近代史の足跡もたどっています。大連研修では、現地政府、女性たちの「熱烈歓迎」を受け、日中女性の活発な情報交換を行うことができました。

5月19日には、成果発表会を行いました。

今回、参加した社会人は、マスコミ、法律、教育、企業など幅広い分野で活躍する女性たちです。こうした社会人と大学院生が、それぞれの立場を越え、「女性」として共有できる問題意識を明確にし、意見交換を行うことが出来たことは研修の大きな成果となりました。

今後もこのプログラムならびに、参加者の交流が継続し、「女性」の社会参画の機会が広範囲に拡大していくことを期待しています。



大連市政府とのミーティング

第2回 城西大連・東北学友会を開催

日時…2012年5月27日
場所…大連、中華人民共和国



水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学大連訪問団一行は、2012年5月27日、大連市内のホテルで第2回城西大連・東北学友会懇親会を開催しました。

懇親会には、城西大学・城西国際大学で学んだ日中連携大学院の若手教員をはじめ、JMBAsカレッジや「2+2」共同教育プログラムの卒業生、向坊隆記念、村井隆奨学金、水田三喜男記念、水田宗子奨学金の受賞生、私費留学の卒業生等に加え、前東北大学総長で著名な金属材料学者であり、4月から本学の理事長特別顧問に就任した井上明久先生の教え子や共同研究者など、総勢



挨拶される水田理事長

100名近くの方が集まりました。

会の冒頭の挨拶で水田宗子理事長は、卒業生との再会を喜ぶとともに「国際社会が大きく変化している中で力強く人生を切り開き、今後は後輩の指導にも努めていってほしい」と話されました。また、日中連携大学院の陳岩先生、大連学友会会長も務める大連理工大学の杜鳳剛先生からもそれぞれご挨拶をいただきました。

今回集まった卒業生たちは、現在欧米や中国の大学教員として、また中国のグローバル企業の幹部等としてそれぞれ大いに活躍しています。学校法人城西大学の人材育成の精神



観光学部卒業生たちとの記念撮影

は後輩たちに引き継がれ、現在も多くの優秀な学生たちが育っています。今後も学友会のみなさんの力を集結し、学友のつながりを広

大連理工大学にて「向坊隆記念」村井隆奨学金

「水田三喜男記念」水田宗子奨学金授与式および

水田三喜男記念文庫贈呈式を挙



日時…2012年5月28日
場所…大連理工大学、中華人民共和国

2012年5月28日、水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学大連訪問団一行は大連理工大学を訪問しました。

午前中、水田宗子理事長と張徳祥党委書記の会見が行われた後、張徳祥党委書記をはじめ同大学の先生方のご出席のもと、向坊隆記念、村井隆奨学金、水田三喜男記念、水田宗子奨学金授与式が行われ、大連理工大学大学院の両奨学生計37名に水田理事長および村井隆顧問から奨学金が贈呈されました。奨学生を代表して、管理経済研究科の何平さんが「奨学生に選ばれて大変感謝しています。世界のために役に立てるような人材になることを目標にこれからも一生懸命学んでいきたい」と挨拶しました。授与された院

生は、大連理工大学の各専門分野の博士課程と修士課程から特に選ばれた皆さんであり、今後の研究活動、そして社会での活躍がたいに期待されます。

引き続き、水田三喜男記念文庫の贈呈式が行われ、城西大学福島先生から大連理工大学の蘇敬勤先生に今回寄贈する文庫の目録が贈られました。この記念文庫は、戦後の日本経済復興から高度成長の時代において、水田三喜男先生が日本経済発展に大きく貢献され

げ、親睦を深めるとともに、日中両国の国際交流の促進や経済・文化の発展に一層寄与していくことが期待されます。



水田三喜男記念文庫の贈呈式

大連理工大學で水田桜の植樹式を挙行

日時…2012年5月28日
場所…大連理工大學、中華人民共和国



2012年5月28日、水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学大連訪問団一行は大連理工大學を訪れ、水田桜の植樹式を行いました。これは、日中国交正常化40周年ならびに城西大学と大連理工大學との学術交流協定締結5周年を記念して行われたもので、水田宗子理事長、村井隆顧問と大連理工大學の張徳祥党委書記、寧桂玲副学長らが、大連理工大學の留学生宿舎の前に20本の水田桜の苗木を植樹しました。

植樹式には城西大学大連訪問団一行のほか、大連理工大學大学院、国際交流センター、管理と経済学部の方や学生代表からも多数出席されました。今後の水田桜の成長とともに、両学の交流がこれまで以上に一層深まっていくことが期待されます。



植樹を行う訪問団一行

大連高級経理学院で水田桜の植樹式を挙行

日時…2012年5月28日
場所…大連高級経理学院、中華人民共和国



水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学大連訪問団一行は、2012年5月28日、城西大学の名譽博士号授与者である林安西先生が院長を務める大連高級経理学院を訪れ、20本の水田桜の植樹式を行いました。

大連高級経理学院は、本年9月の開学に向けて、現在急ピッチで仕上げが進んでいるところでしたが、正門を入ったすぐの中庭にて

本学からの桜20本の植樹式を行いました。林安西院長からも「大変親しい城西大学からの桜の寄贈を大変うれしく思い、中庭の一番目立つ、入ってすぐの場所に植えることにしました。9月の開学後も、両校の交流をさらに進めてまいります」との話がありました。

大連高級経理学院は、中国でも特別な経済人向けの教育を実施する機関として設置され

ています。キャンパスも社会人や会社の経営者が主に学ぶことから、豪華にまた美しく設計されていました。本学の桜は、世界各国からやってくる学生たちにとっての大きな喜びとなることでしょう。



林安西先生と水田理事長

大連外国語学院で水田桜の植樹式を挙行

日時…2012年5月29日
場所…大連外国語学院、中華人民共和国



昨年行われました柳振万党委書記の城西大学名譽博士号授与記念として、本学より大連外国語学院に水田桜の苗木200本を贈呈することとなっておりましたが、水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学大連訪問団一行は2012年5月29日、大連外国語学院を訪れ、そのうち60本について植樹式を行いました。

大連外国語学院の旅順キャンパスの敷地35万坪の真ん中には大きな池があります。その池の周りを桜で美しく彩るようにとの願いを込めて、水田理事長と村井顧問が柳振万書記、孫玉華学長とともに植樹を行いました。傍らには「友好の桜」との銘板が設置され、



桜の苗木を植樹



水田桜を植樹

両校の絆がさらに強まりました。当日は柳書記のご配慮により、舟が一艘ゆつくりと池を

進み、あたかも山水画を見ているような美しさでした。

テネシー大学生『日本伝統文化体験講座』に特別参加

日時…2012年5月30日

場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



2012年5月12日から31日までサマープログラムで城西国際大学を訪れていたテネシー大学の学生15名が、東京紀尾井町キャンパスで開催されている『日本伝統文化体験講座』茶道を中心に『』に特別参加しました。

城西国際大学国際教育センターのブルチョウ順子（茶名・宗順）先生の指導のもと、テネシー大学の学生は和服に身を包み、茶室で抹茶を一服しました。この講座は茶道を通じて、華道や和服の着付けを体験し、日本の伝統文化を学習することを目的に行われています。

テネシー大学の学生が服した抹茶は、昨年からのこの講座を受講している大学院生や学生が点てたものです。抹茶を通じて行われるテネシー大学の学生と城西大学、城西国際大学の学生との交流は、日本伝統文化が国際交流でも有意義であることを物語っています。



講座の様子

チェコカレル大学副学長らと大使館にて面会

日時…2012年6月19日

場所…在チェコ共和国日本国大使館、チェコ共和国



2012年6月18日から24日まで、水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学訪問

団一行はチェコ、ハンガリー、ポーランドを訪問しました。

本学は海外のさまざまな大学との学術交流による教育ネットワークの充実を図っていますが、今回の訪問は、特に力を入れている地域のひとつである中欧での交流強化を図る目的で行われたものです。

6月19日、訪問団一行はチェコを訪問し、プラハの在チェコ日本大使館において國方俊夫大使と面会後、カレル大学のヤン・シユクルハ国際関係担当副学長、ヤン・シーコラ日本語学科長らと面会し、日本語教育を中心とした今後の交流の可能性について議論しました。

カレル大学は1348年に設立された国内最大最古の大学で、学生数は約5万人。中欧でも最古の大学として有名で、欧州においても権威と尊敬を受けるトップ校のひとつです。

チェコプラハ経済大学を訪問

日時…2012年6月19日

場所…プラハ経済大学、チェコ共和国



2012年6月19日、水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学訪問団一行はチェコのプラハ経済大学を訪問しました。

同大学とはすでに本年3月に学術交流協定を締結しており、今回はそれを受けての正式訪問となりました。ハナ・マチコヴァー副学長、シユテバン・ミューラー国際関係学部長らと面会し、社会科学系を中心とした今後の交流内容について具体的な提案や確認を行いました。

プラハ経済大学は1919年に設立された学生数2万人の大学で、社会科学系の学部が中心です。チェコの政治・経済界を牽引する存在で、これまで多くの人材を輩出しています。



プラハ経済大学ハナ・マチコヴァー副学長らと



國方大使、カレル大学副学長らとの記念撮影

チェコマサリク大学を訪問

日時…2012年6月20日
場所…マサリク大学、チェコ共和国

2012年6月20日、水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学訪問団一行はチェコを訪問し、ブルノにあるマサリク大学を訪問しました。

同大学は1919年設立で、チェコ・モラヴィア地方を代表する大学です。学生数は4万5千人で、国内でも2番目の規模を誇ります。日本語研究が盛んで、2008年に日本研究所を開設しています。

今回はラディスラク・ラブシツク副学長や、ダナ・ペトロヴァ国際教育室長らと面会し、今後の交流の可能性等について話し合いました。



マサリク大学ラディスラク副学長と

ハンガリーセゲド大学を訪問、学術交流協定を締結

日時…2012年6月21日
場所…セゲド大学、ハンガリー

2012年6月21日、水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学訪問団一行はハンガリー・セゲドのセゲド大学を訪問し、ベラ・ラーズ副学長らと面会後に学術交流協定を締結しました。

セゲド大学は1872年に設立された学生数3万人の大学で、エトヴェシュ・ローラード大学と並んでハンガリーを代表する大学として知られています。

同大学は現在日本語教育にも力を入れており、本学とも日本語教育支援を中心にした今



学術交流協定を締結

後の交流の拡大が期待されます。今回の訪問でも、今秋より本学への入学を希望する学生

たちとも会うことができました。

ハンガリーからの留学予定者が水田理事長を表敬訪問

日時…2012年6月21日
場所…ハンガリー

2012年6月21日、ハンガリーから本学への留学予定者たちが、同国を訪問中の水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学訪問団の滞在先を表敬訪問しました。

今回表敬訪問を行ったのは、本学と交流が深いブダペスト商科大学にエトヴェシュ・ローラード大学およびコルヴィヌス大学からの留学予定者約10名です。彼らは、今秋より城西大学もしくは城西国際大学に留学し、日本語・日本文化をはじめさまざまなことを学ぶ予定となっています。

両大学の学生たちは、水田理事長ら訪問団に留学への期待と抱負を述べた後、チャート等を使ってハンガリーの歴史や文化を説明するとともに、手作りのお土産を手渡して歓迎の意を表しました。



エトヴェシュ・ローラード大学、コルヴィヌス大学からの留学予定者たちと

ポーランドウッチ大学を訪問、学術交流協定覚書を締結

日時…2012年6月22日
場所…ウッチ大学、ポーランド共和国

2012年6月22日、学校法人城西大学訪問団一行は、ポーランド・ウッチのウッチ大学を訪問しました。

今回の訪問は、同大学が本年5月に本学に来学された際に、今後の交流について打ち合わせを持ったことを受けて行われ、ゾフィ

ア・ウインキンスカ副学長らと面会し、学術交流に関する覚書を締結しました。日本語教育を軸に、幅広い交流を今後積極的に進めていく予定です。

ウッチ大学は、ポーランドを代表する国立大学のひとつで1945年に設立され、学生数は4万2千人です。国際交流も活発に展開しており、国際学・政治学部内の東洋研究所に日本語の授業もあります。

なお、訪問団は同日ワルシャワ工科大学も訪問し、国際交流室のデブレツセム部長の案内でキャンパスを見学しました。1826年に創立されたワルシャワ工科大学は、キューリー夫人の卒業校としても広く知られており、伝統的な校舎と近代的な校舎を併せ持つ素晴らしいキャンパスを有しています。今回のワルシャワ工科大学への訪問も、同大学が本年5月に本学に来学したことを受けて実現したものです。



学術交流協定覚書を締結

マレーシア マネジメント&サイエンス大学を訪問

日時…2012年7月18日

場所…マネジメント&サイエンス大学、マレーシア



水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学のマレーシア訪問団一行は、2012年7月18日、クアラルンプール郊外のシャー・アラムにあるマネジメント&サイエンス大学を訪問しました。

同大学は、創設者でもあるシユクリ学長 (Mohd Shukri Abd Yajid) の来学を通じて2010年1月27日に学術交流協定を締結した、本学と関係の深い大学です。2001年に設立され、薬学・医学を含む

実学に即した学部学科が多数あり、非常に優れた医学・薬学の施設を有しています。また、健康医療にも力を入れており、当日訪問団に提供された昼食は、学生が考えた献立に従って、学生たちが自分で用意したものが振る舞われました。

本学と同学の間では、2011年12月の本学代表団の訪問を契機に、城西大学薬学部と教員レベルでの交流を行ってきました。そして、いよいよ本年度より学生の交流が

始まり、6月末には初めてマレーシアからの留学生を城西大学薬学部で受け入れました。

なお、9月には本学からの学生の派遣も予定されています。



訪問団の面会の様子

マレーシア観光大臣主催による晩餐会に出席

日時…2012年7月18日

場所…ブトラジャヤ、マレーシア



水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学のマレーシア訪問団一行は、2012年7月18日の夜に、クアラルンプール郊外ブトラジャヤのホテルで、ン・イエーン・イエーン (Dato Sri Dr. Ng Yen Yen : 黄燕燕) 観光大臣主催による晩餐会に出席しました。

大臣は、2011年11月25日にマレーシア観光局の紹介で本学紀尾井町キャンパスに来訪され、理事長と面談、学生たちと交流されました。その後、本学のマレーシア高等教育機関との交流を大いに支援いただき、なかでも、今回2度目の訪問となつ

定されており、今回の代表団訪問により、今後ますます両大学間で薬学・経営・メディア等の分野を中心とした協働、交流が深まることが大いに期待されます。



面会後の集合写真



マレーシア トウンク・アブドウル・ラーマン大学を訪問

日時…2012年7月19日
場所…トウンク・アブドウル・ラーマン大学、マレーシア

たトゥンク・アブドウル・ラーマン大学は大臣のご紹介によって、初回訪問時に協定書の締結に至り、本年度からいよいよ学生の交流が開始されます。本学からは100名近い学生の留学が予定され、先方からも20名程度の学生の来学を見込んでいます。

今回は、本学とマレーシアの大学との関係をより一層深められるよう、マレーシアの大学のトップ、企業関係者をご紹介いただきました。

また、晩餐会において、大臣のこれまでのマレーシア観光拡大に関わる大きな功績や女性リーダーとしての実績、そして本学に賜った大きなご支援等に鑑み、水田理事長から大臣へ城西国際大学の名誉博士号を授与することが発表されました。きたる9月4日に行われる城西国際大学秋季卒業式において授与式が行われる予定です。



大臣を囲んでの出席者記念撮影

水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学のマレーシア訪問団一行は、2012年7月19日にクアラルンプールの北西140kmにあるトウンク・アブドウル・ラーマン大学のキャンパスを訪問しました。

同大学は、華人系への高等教育を確立すべく2002年に設立された総合大学です。新設大学ながら、ほぼ国家的な規模でサポートが行われており、短期間で大きな成果を上げています。

本学と同学は、2011年12月の本学代表

団訪問により学術交流協定を締結しており、本年4月の城西国際大学設立20周年記念の世界学長会議には、本学のASEANにおける姉妹校の代表として、ユウ・ホン・タット (Ewe Hong Tat) 副学長に参加いただきました。

今回の訪問では、チュア・ヘン・テック (Chuah Hean Tek) 学長以下の首脳教員と面会したほか、同学が近年開始した日本語プログラムへのサポートなど、両学の今後の協働プロジェクト・プログラムに関して具体的



マレーシア マラ工科大学を訪問

日時…2012年7月20日
場所…マラ工科大学、マレーシア



チュア・ヘン・テック学長らと面会

な話し合いが行われました。また、本年9月からの本格的な学生交流の開始にあたり、本学から渡航する学生たちの宿泊施設なども見学しました。



充実した学生用宿泊施設

水田宗子理事長を団長とする学校法人城西大学のマレーシア訪問団一行は、2012年7月20日にクアラルンプール郊外のシャー・アラムにあるマラ工科大学を訪問しました。

同大学は、マレー系国民の高等教育を目的として1956年に創設された国立大学で、全国20か所以上のキャンパス、21の提携大学

を持ち、1万7千名の教職員を擁するマレーシア最大の高等教育機関です。

今回の訪問では、教務および国際関係担当のアズニ・ザイン・アーメッド (Azni Zain Ahmed) 副学長以下、主に国際関係担当の方々と面談し、学生の相互留学の検討、観光学におけるダブル・ディグリー・プロ

今回の訪問により、両学の間で文化・語学・ビジネス等の分野を中心にさまざまな交流活動が進むことが大いに期待されます。



駐日スウェーデン王国ラーシュ・ヴァリエ大使閣下講演開催

日時…2012年7月19日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

2012年7月19日、駐日スウェーデン王国のラーシュ・ヴァリエ大使閣下が本学の東京紀尾井町キャンパスに来学されました。大使閣下は、大学院国際アドミニストレーショ

ン専攻エグゼクティブ・プログラム『新しいグローバル社会と日本の将来』の第1回目をご担当され、「スウェーデンのグローバル化について」と題された講演を行いました。



アズニ・ザイン・アーメッド副学長（左端）らと面会



面会後の記念写真

プログラムの検討、メディア学部との提携などについて今後の交流の可能性が話し合われました。

また、同大学では、日本語教育にも注力しており、中等教育修了者を対象とする日本留学のための予備教育を行うコースも保有していることから、城西国際大学の日本語教育プ

ログラムによる同学へのサポートなど、さまざまな分野における協働の可能性を具体的に討論することができました。

今回の訪問をきっかけに、今後、学術交流協定をはじめとした同大学との交流が期待されます。

講演には学生に加えて、経済、行政、教育の各界を代表される方々も参加され、総勢60名以上が政治、経済、社会、文化、歴史と広範囲にわたる大使閣下の講演に耳を傾けました。質疑応答では「EUの日本」と呼ばれるスウェーデンと日本の男女平等、福祉、税政面について比較した質問のほか、スウェーデンとノルウェーという隣接する国家の社会や文化を比較した質問がノルウェーからの留学



講演中のラーシュ・ヴァリエ大使閣下

マレーシア観光大臣が来学、講演を開催

日時…2012年9月3日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



2012年9月3日、マレーシア観光大臣・イェン・イェン (Datuk Seri Ng Yen Yen)

氏が東京紀尾井町キャンパスに来学されました。今回の来学は、2011年11月に続く2



講演会場の様子

生より出され、講演参加者の幅広い興味を物語っていました。

笑い声があふれる場面も多く見られ、和やかな雰囲気で行われた第1回目の講演は、国際アドミニストレーション専攻のエグゼクティブ・プログラムのテーマである「新しいグローバル社会」を象徴する内容となり、盛大な拍手とともに終了しました。



挨拶される観光大臣

回目となるもので、今回は、翌9月4日の城西国際大学秋季卒業式において同大臣に名誉博士記が授与されることを記念して、東京紀尾井町キャンパスにて講演会を行なっていたために来学されたものです。

今回は観光大臣と共に、駐日マレーシア大使のダト・シャハルディン・ビン・モハマッド・ソム閣下やマレーシア観光省・政府観光局の方々もお見えになり、講演会に先立って行われた懇親会で本学の紹介を行うとともに、今後のマレーシアの大学と本学との交流強化等についての話し合いや意見交換が行われました。

その後、両大学からの学生や教職員、政府・企業関係者ら招待客を含め約170名の出席のもと、地下ホールにて「21世紀におけるマレーシア観光の展望」と題した大臣の講演会が行われました。講演会に先立ち、水田理事長から「大使は2008年にマレー

シアの華人系の女性として初めて女性・家族・コミュニティ開発担当の大臣に就任し、翌年に観光大臣に就任され、これまでマレーシアの観光の発展に大変尽力されてきました。ぜひ学生の皆さんも今日の講演で多くのことを学んでほしい」との挨拶がありました。

講演では、豊かな自然に恵まれたマレーシアの観光立国としての特長やエコツーリズムの推進状況、観光省によるグルメ、芸術、ショッピング、医学、教育などさまざまな分野と連動した観光促進イベントの取り組みが紹介されました。そして、2020年に向けたマレーシア観光産業強化計画と観光省の役割の重要性についての説明がありました。大使は「ツーリズムは、平和と調和のとれた国で成り立つものであり、観光は訪れた人に変化を促す触媒にもなるものです。今後も観光産業に力を入れ、より多くの人にマレーシアを訪れてもらうようにするためにも、観光のプロフェッショナルの育成を強化する必要があります。城西国際大学は、ツーリズムの重要性に対応して観光学部を設立する先見性を持った大学であり、ぜひ今後も相互に協力していきたい」と話されました。

また、講演会後には近隣のホテルにて名誉博士記授与を祝う晩餐会も催され、会場に詰めかけた約200名の日本とマレーシアの関係者やお客さまの方々が今回の名誉博士記の授与をお祝いしました。

大臣は、マレーシアの観光振興に注力し多大な功績を収め、同国の発展や文化學術交流の促進への貢献のみならず、グローバル社会におけるアジアの時代への先駆的な女性リーダーとして高く評価されています。また、多民族共生を見据えての女性の高等教育普及と活躍の場の拡大に関する多くの提言を行い、社会の発展に寄与されています。

す。さらに、本学と同国との国際交流プログラムの構築・支援にも尽力され、なかでも、トウシク・アブドゥル・ラーマン大学は大臣のご紹介によって学術交流協定の締結に至り、本年度からいよいよ学生の交流が開始され、本学から100名近い学生がマレーシアに留学しました。このような多くの功績・

貢献により、今回大臣に城西国際大学より名誉博士記を授与することになったものです。

今回の大臣への名誉博士記授与を機に、今後のマレーシアの大学との交流がより活発になることが大いに期待されます。



講演する大臣



講演会の様子

中国 東北大学主催・本学共催のシンポジウムに出席、特別講演を実施



日時…2012年9月6日
場所…東北大学、中華人民共和国

2012年9月6日、水田宗子理事長を团长とする学校法人城西大学瀋陽訪問団は、中国東北大学が主催し城西国際大学が共催するシンポジウム「融合・共生・インタラクシ

ン——第3回中日文化比較研究国際シンポジウム」に出席し、水田理事長が特別講演を行いました。

本シンポジウムは、東北大学主催、城西国



特別講演をする水田理事長

際大学日本研究センター、相愛大学、大連理工学大学日本学研究センターおよび大連外国語大学中日比較言語文化研究所の共催で行われたもので、「科学技術と社会への影響」に着目して哲学・文学・歴史・工学など学際的研究によって、経済成長を支えた近代化の価値観を再考することを目的に開催されました。第3回となる今回は、これまでの日本・中国に加え韓国の大学も参加して9月6日、7日の2日間にわたり東北大学で行われました。特に今回は、2011年3月の東日本大震災によって世界的に科学技術の発展と社会への影響についての再考が迫られる中、今後の東アジアにおける文化交流の展望について三国の研究者が一同に集い認識を新たにするとともに、中国と日本の相互理解の促進を目指して行われました。

シンポジウムでは、在瀋陽日本国総領事館の加藤英次首席領事、遼寧省中日友好協会陳

鉄成会長、東北大学丁烈雲学長の開会挨拶に続き、水田理事長が「記憶と文学・トラウマとしての記憶とポストメモリーとしての記憶の文学 大庭みな子の『浦島草』」と題した特別講演を行いました。

水田理事長は、社会・文化の表面、表層へ浮上して他者と共有されることも、社会的、文化的記憶となることもない個人の内面に沈潜された惨事の記憶や記録・痕跡が、惨事の当事者が語るのではなく、語り得ないままになった、当事者の内面、記憶を、他者である作家がどのように表現し、表像しうるかという事に関して、大庭みな子の『浦島草』という原爆の生き残りたちを主人公とした作品を題材に講演し、参加した方々は皆熱心に講演に耳を傾けていました。

また、同日午後の基調講演では、講演者の一人として本学から三木紀人教授日本研究センター所長が「『もろこし』と『我』——西



特別講演の様子

行の和歌一首を視点として」というタイトルで講演を行いました。

なお、シンポジウムは翌日の研究発表部会等を実施し、日中韓の多くの学者たちが一堂に介して時宜にかなった、そして多くの示唆

中国 瀋陽師範大学を訪問

日時：2012年9月8日

場所：瀋陽師範大学、中華人民共和国



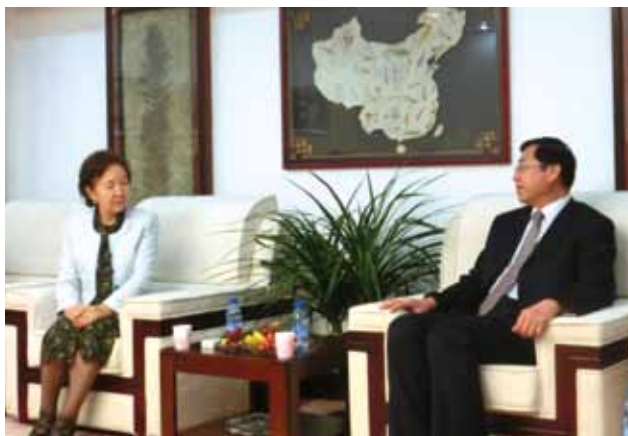
2012年9月8日、水田宗子理事長を

団長とする学校法人城西大学瀋陽訪問団は瀋陽師範大学を訪問しました。瀋陽師範大学は1951年に創立された国立大学で、哲学、経済学、法学、教育学、文学、理学、工学、管理学の八つの学部からなる総合大

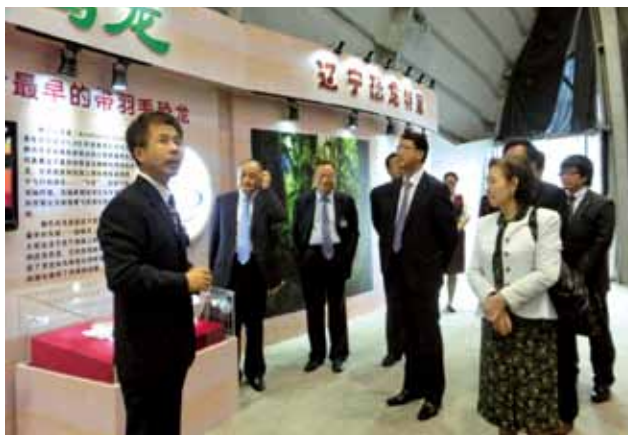
に富む発表や意見交換が行われた意義深い2日間となりました。また、本学で学んでいる日中連携大学院の学生も発表の機会を持つことができ、それぞれ興味深い発表を行い、大きな成長の場となりました。

学です。

今回の訪問は、2011年10月の学術交流協定締結時の訪問に続く2回目となるもので、夏敏副学長らと会見し、2+2の学生交流をはじめとする今後の幅広い交流強化等について議論しました。



夏敏副学長との会見



古生物博物館を見学



式典の様子

韓国 東西大学校創立20周年記念式典に出席

日時…2012年9月20日
場所…東西大学校、大韓民国

また、本学は来年春に向けて現在建設中の東京紀尾井町キャンパス3号棟にて化石ギャラリーを開設する計画ですが、今回も前回訪問時に引き続き同大学の古生物博物館を孫革館長にすみずみまで詳しくご案内

内いただきました。現在同ギャラリーは設計段階に入っていますが、レプリカの展示方法や画像展示など、ギャラリーを作る上での数多くの貴重なアドバイスをいただくことができました。

2012年9月20日、水田宗子理事長を团长とする学校法人城西大学訪問団は、韓国釜山にある東西大学校創立20周年式典に招待を受けて出席しました。同学の数ある姉妹校のうち、本学を含め、アメリカのホープ大学、中国の武漢大学の三大学だけが、長年にわたる深く親しい交流に感謝を込めて特別に招待されたものです。

当日は、釜山市の中心街に新しく建設されたメディア学部を含むビルディングにおいて、創立20周年を記念した盛大な式典とレセプションが開催されました。

式典では、創設者の張聖萬 (Chang Sunman) 氏のスピーチや、20年の同学の歴史を振り返るビデオ上映に加え、張済国 (Chang Jekuk) 総長がこれからの東西大学校のビジョンについて話されました。また、メディア学部で学ぶ学生たちによる歓迎のパフォーマンスなどのほか、新しく大学のロゴマークも発表されました。

創立当時より同学と親しい関係にあった水田理事長は、東西大学校の素晴らしい発展に心からの賛辞とお祝いを述べました。

そして、引き続き行われたレセプションでは、東西大学校から本学へ感謝を込めて記念の品が贈られ、本学からお祝いとして、水田桜にちなむ森田りえ子氏の『朧ろ月』の版画が贈られました。

東西大学校は、1992年に設立されたキリスト教系の私立大学で、経営、土木工学、社会福祉、観光、デジタルコンテンツ、デザ

イン、スポーツなど18の学部にて1万1千名の学生が学んでいます。

本学とは1999年に学術交流協定を締結して以降、交換留学やデュアルデグリー、



張済国総長から記念品を受け取る水田理事長

韓国 韓南大学校を表敬訪問

日時…2012年9月21日
場所…韓南大学校、大韓民国



2012年9月21日、水田宗子理事長を团长とする学校法人城西大学韓国訪問団は、大田市にある韓南大学校を表敬訪問し、金炯泰 (Kim Hyungtae) 総長らと面会しました。

本学は2009年に韓南大学校と学術交流協定を締結し、以降交換留学や国際文化研修、インターンシップ等を中心に活発に交流してきました。

サマーセミナーや地域文化研修等多彩なプログラムで活発に交流しており、これまでに城西大学、城西国際大学合わせて300名の学生の受け入れ、派遣を実施しています。



張済国総長のスピーチ

そして、今後のさらなる交流の拡大の一環として、城西国際大学の創立20周年を記念して設立した「PRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK (高円宮殿下記念スポーツパーク)」において、韓南大学校と本学とで第1回サッカー国際親善試合を行う予定になっており、今回の訪問ではその具体的なミーティングを行いました。その結

果、今年の12月11日の親善試合開催ならびに、訪問団や総長のご来学も確約いただき、これから両校で相談しつつ、準備を進めていきます。

韓南大学校は、本年韓国学生サッカーリーグ2位の实力を持ち、Jリーグにも多くの人材を輩出しているサッカーの強豪校です。また、城西国際大学サッカー部は、元日本代表チームコーディネーターの小山哲司監督のもと、千葉県大学サッカーリーグ秋期2部リ



金炯泰総長と水田理事長

グに所属、1部昇格を目指して日々練習に励んでいます。

同施設は、千葉東金キャンパスに隣接。約3万3千平方メートルの広さを持ち、公式試合が可能なサッカーグラウンドとクラブハウスおよび多目的広場（芝生）などの施設を有しています。

12月の親善試合の開催が両校ともに待たれます。



親善試合の打ち合わせ

本学と日活がポストプロダクション施設を設立

日時…2012年9月10日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス



学校法人城西大学と日活株式会社は、東京

紀尾井町キャンパス内にポストプロダクション

ン施設（仮称…城西／日活ポストプロセンター）を設立して、次世代の映像人材の育成に向けて協力することに合意し、2012年9月10日に日活調布撮影所にて記者発表を行いました。

本学と日活は2010年6月に連携協力に関する包括協定を締結し、2011年4月に城西国際大学メディア学部新たに映像芸術コースを開設しました。これまで37年間にわたり映像業界に数多くの人材を輩出してきた日活芸術学院の協力のもと、最先端のデジタルメディアテクノロジーを取り入れながら次世代の映像文化を創造する人材の育成に取り組んでいます。

今回は、それらの取り組みをさらに発展させるべく、本学東京紀尾井町キャンパス内に城西国際大学メディア学部と日活が共同でプロ仕様のポストプロダクション施設を設置し、2013年7月からスタートする予定です。

本ポストプロセンターは、オンライン編集室、オフライン編集室、MAルーム等を有し、メディア学部の映像制作実習だけでなく、日活のプロのスタッフもこれらの設備を利用して映像作品を制作する予定です。本学の学生はプロの制作現場と同じ最新の環境でポストプロダクション工程の実習等を行うことができ、より実践的な映像制作技術を学ぶことが可能になります。

日活株式会社は同日、創立100周年を迎えましたが、本記者会見はその祝賀会に先立って行われました。記者会見に出席した水田宗子理事長は、「昨年は『八日目の蟬』という数多くの賞に輝いた作品を本学のキャンパスでも撮影いただき、映像業界を目指す本学メディア学部の学生にたいへん大きな刺激を与えていただきました。また、本学は中国伝媒大学・北京電影学院やアメリ

カの南カリフォルニア大学など、メディア関連の海外の著名大学との連携を強化していく考えです。今回のポストプロセンターの設立により、本学学生が大学の中で最新の実践的な講義を受けられるようになることは大変素晴らしいことです。日活株式会社は、100年の長い間に蓄積された映像・メディアに関する素晴らしい知的蓄積をお持ちであり、これらを基に、次の100年においても人々に夢を与えるような挑戦を日活とともに進めていきたいと思えます」と挨拶しました。

本学は、今回のポストプロセンターの設立を契機に、日本の映画文化の一端を担ってきた歴史ある日活とさらに連携を深めることにより、総合芸術である「映画」に関するさまざま



記者会見での水田理事長と日活株式会社佐藤社長



本学創立 20 周年記念式典を挙行了しました



本学メディア学部と韓国・東西大学校共同制作映画『冬の火花』上映会

まな専門知識や映像メディアに関する幅広い教養を伝え、将来の日本のコンテンツ産業を

担い、グローバルに活躍できるメディア人材育成に取り組んでいます。

創立20周年記念事業

城西国際大学創立20周年記念式典を挙行

日時…2012年4月28日
場所…城西国際大学

創立20周年
記念事業

2012年4月28日、城西国際大学千葉東金キャンパスで「城西国際大学創立20周年記念式典」を挙行了しました。

当日は本学関係者や地元自治体の皆さま、海外姉妹校の皆さまなど大勢の方にご参加いただき、創立20周年を祝いました。

また、ハンガリー文化センター主催の東

日本大震災復興祈念コンサートや、本学メディア学部と韓国・東西大学校の共同制作による映画『冬の火花』上映会も開催されました。

野外イベントとして、チャリティーバザー、全国物産展、地元物産展、祝いの餅投げ、白子太鼓衆「楽」による和太鼓の演奏、チュバチュパワンダーランド キャブテン☆C キャラクターショー、留学生とまわるスタンプラリー、子ども劇場など多彩な催しも行われ、市民の皆さまにも楽しんでいただきました。



スポーツ文化センターで開催された祝賀会にも大勢の方が参加されました

城西国際大学創立20周年記念「世界学長会議」を開催

日時…2012年4月29日
場所…学校法人城西国際大学東京紀尾井町キャンパス

創立20周年
記念事業

2012年4月29日、城西国際大学創立20周年記念「世界学長会議」が東京紀尾井町キャンパス地下ホールにて行われました。

本会議は、城西国際大学が創立20周年を迎えることを記念して、欧州・米州・アジアなど海外の本学姉妹校より9か国・地域の12大学の学長や代表を招待して、「世界の転換期における大学の役割と人材育成：Global Education in a Changing World—The Role of the University in the Development of Human Resources」をメインテーマに開かれたものです。

会議に先立ち、水田宗子理事長は「日本の昨年の大震災をはじめ、世界の経済・社会・環境等が世界レベルで大きく転換している今、大学の役割は極めて重要となっている。

本日参加された大学の学長や代表者の皆さまに、今後のグローバル人材の育成や連携について、大いに議論を深めていただきたい」と挨拶しました。

会議では、参加大学が二つのセッションに分かれて、「この時代を切り開き、危機・課題を乗り越えていくための人材とは」「グローバル教育の取り組み、今後の大学間連携協力」「グローバルと地域をつなぐ教育」等に関し、世界の高等教育機関が抱える諸問題について、それぞれの国の経済・文化的側面や大学、分野の特色を踏まえさまざまな観点から意見が出されました。

そして、参加した学長全員が「グローバルコミュニケーションの重要性」と「各国の実情に合わせた具体的な目標・活動の重要性」



二つのセッションに分かれ、活発な議論を展開



開催に先立ち、挨拶する水田理事長



セッション2の様子



一堂に会した参加者

2012年5月22日、城西国際大学創立20周年記念事業の一環として、公式試合が可能なサッカーグラウンドを備えたスポーツパークが完成し、竣工式を行いました。スポーツ振興や国際交流活動に尽力した高円宮殿下（2002年薨去）のご功績を称え、またそのご遺徳を次代に継承すべく「PRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK（高円宮殿下記念スポーツパーク）」と命名されました。

メモリアルゲートの除幕を行っていただきました。また、日本サッカー協会の川淵三郎名誉会長など、日本サッカー協会の方々も出席。さらに、記念試合として、東日本大震災で静岡県に避難している福島県的女子高校生からなるJFAアカデミー福島が紅白試合を行いました。

同施設は、千葉東金キャンパスに隣接。約3万3千平方メートルの広さを持ち、公式試合が可能なサッカーグラウンドとクラブハウスおよび多目的広場（芝生）などの施設を有

創立20周年
記念事業

日時：2012年5月22日
場所：城西国際大学

「PRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK （高円宮殿下記念スポーツパーク）」が完成

の共通認識を深めることができました。

会場には、本学との交流の深いハンガリー、ポーランド、チェコ、ブルガリアの大使をはじめとした海外関係者、政府・経済団体、企業関係者、マスコミ、他大学や一般の方々など合計200名が来られ、皆熱心に参加大学のスピーチに耳を傾けていました。

なお、会議終了後は別会場でレセプションが行われ、文部科学省大臣官房審議官の常磐豊氏より会議の感想と、今後の本学の国際交流活動への期待する旨のお話がありました。レセプションでは、参加者の間でグローバル時代の人材育成や今後の大学のあり方等についての活発な意見交換がなされるとともに、相互の交流が大いに深まりました。

今回の会議を契機に、グローバル時代の大学の役割と人材育成に関しての議論が一層深まり、今後の更なる大学間の国際連携強化につながる事が期待されます。

●「世界学長会議出席者」(セッション順)

セッション1	城西国際大学	柳澤 伯夫 学長
	セント・イシュトバン大学 [ハンガリー]	László Solti 学長
	カモーン・カレッジ [カナダ]	Kathryn Laurin 学長
	プスティマ大学 [ウガンダ]	Mary Jossy Nakandha Okwakol 副学長
	韓国外国語大学 [韓国]	朴 哲 総長
	ケルン大学 [ドイツ]	Wolfgang Jagodzinski 所長
セッション2	東北大学 [中国]	王 福利 副学長
	城西大学	森本 雅憲 学長
	東西大学校 [韓国]	張 済国 総長
	天津外国語大学 [中国]	修 剛 学長
	ブダペスト商科大学 [ハンガリー]	Éva Sándor-Kriszt 学長
	北カレリア応用科学大学 [フィンランド]	Petri Raivo 学長
	淡江大学 [台湾]	戴 萬欽 副学長
	トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学 [マレーシア]	Ewe Hong Tat 副学長

しています。

サッカーグラウンドの面積は、約1万750平方メートル。選手など施設使用者の健康管理に配慮し、夏場におけるグラウンドの表面温度上昇を抑えるような人工芝を施しています。また、ナイター設備もあり、ピッチには約300の観覧席を設けています。クラブハウスは、延べ面積約450平方メートル。監



「PRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK（高円宮殿下記念スポーツパーク）」が完成しました



メモリアルゲート

督室やミーティングルーム、ロッカールームなどを設けるとともに、屋上に60名収容の観覧席を配置しています。

同施設は、本学サッカー部が利用するほか、青少年の育成など地域のスポーツ振興に生かしていくとともに、スポーツを通しての国際親善・交流活動の拠点としても活用していく予定です。

ヘルベルト・プルチョウ追悼シンポジウム

および大庭みな子国際シンポジウム

「異郷への旅と物語」を開催

日時…2012年6月29日、30日
場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

創立20周年
記念事業

2012年6月29日、30日の2日間、ヘルベルト・プルチョウ追悼シンポジウムおよび

大庭みな子国際シンポジウム「異郷への旅と物語」が、城西国際大学国際人文学部、比較

文化研究センターの主催により東京紀尾井町キャンパスで開催されました。

このシンポジウムは、城西国際大学と深いご縁があった日本文学研究者ヘルベルト・プルチョウ氏（元城西国際大学国際人文学部長、比較文化研究センター長、1939―2010）、女性作家大庭みな子氏（1930―2007）のお二人を偲び、城西国際大学創立20周年記念として行われたものです。

プルチョウ氏は紀行文学を丹念に読み解き、独自の観点から江戸時代における日本人の『旅』の意義を明らかにしました。また大庭みな子氏は、海外経験の豊富な人生を文学の素材とし、一人の女性として、また人間として独自の『異郷』論を展開しました。

今回のシンポジウムでは、「異郷への旅」をコンセプトに、2日間にわたって二人の業



基調講演をする水田理事長

績や人生をたどりつつ、国内外の研究者や編集者による新しい研究成果の発表やパネルディスカッション等を多彩な視点から行いました。

初日の29日は、城西国際大学国際人文学部ポール・シャロウ教授による開催挨拶に続き、水田宗子理事長（城西国際大学大学院院長）が挨拶しました。その後、国際日本文化研究センターの笠谷和比古教授が基調講演としてプルチョウ氏の業績や多様な研究成果を振り返り、インディアナ大学ブルミントン校のスミエ・ジョーンズ名誉教授が『江戸』というプルチョウ氏の研究分野での「異郷への旅」の概念について講演しました。また、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）のマルラ俊江氏がUCLAで同僚だった頃のエピソードなどについて講演しました。午後はUCLA



レセプションでの دونالد・キーン氏（右）スピーチ、大庭利雄氏（左）



1階の大庭みな子特別展示の様子



両日の登壇者たち



ディスカッションの様子

のリビット水田清爾准教授をコーディネーターに、国内外の気鋭のプルチョウ、大庭みな子研究者5名がそれぞれの研究成果を発表しました。

国際人文学部三木紀人客員教授の閉会挨拶の後、行われたレセプションでは、著名な日本文学者ドナルド・キーン氏が、教えず子であったプルチョウ氏の思い出を語るとともに、プルチョウ順子氏、大庭利雄氏等がスピーチを行い、それぞれの思い出やエピソードを語りました。

「大庭みな子国際シンポジウム」

翌30日は、大庭みな子国際シンポジウムとして、水田理事長の基調講演に続き、文教大学の江種満子名誉教授が大庭作品における中国文学の影響について講演し、東洋英和女学院大学の与那覇恵子教授は「大庭みな子全集」を手がけた際の特筆すべき点や苦労話に

ついて講演しました。

その後編集者の宮田穂栄氏やスミエ・ジョーンズ名誉教授、前日講演を行った海外の研究者たちによって、それぞれが最も印象に残る大庭作品に関してのディスカッションが行われました。

また、シンポジウム記念特別展示として、1階ギャラリーにて大庭みな子氏の貴重な肉筆原稿や初版本に加え、油絵、ドローイングおよびアラスカのお面等のコレクションを展示しました。さらに地下ホール前のホワイエでもプルチョウ氏が長年かけて集めた作品コ

レクションや氏の人生を振り返る写真パネル類、二人の著書も多数展示され、両氏にゆかりのある方々をはじめ、国内外研究者や学生、マスコミ関係者など、2日間で来場した約250名の方々が熱心に展示物を見学されていました。

2日間にわたってプルチョウ氏、大庭みな子氏に関するさまざまな研究発表や活発なディスカッションが行われたことに加え、来場された方々がさまざまなかたちでお二人の業績を振り返りながら偲ぶことができた、充実したシンポジウムとなりました。



「水田桜記念碑」と「村井隆先生句碑」を建立

日時：2012年7月11日
場所：千葉県鴨川市嶺岡林道

2012年7月11日、千葉県鴨川市の嶺岡林道に「水田桜記念碑」と「村井隆先生の句碑」を建立し、除幕式を行いました。

水田桜記念碑は、今から36年前、学校法人城西大学創立者の水田三喜男先生が、地域の活性化と嶺岡林道を美しく整えるために、地元の皆さまと500本の桜を植えられ、以後、本日に至るまで「水田桜」として親しまれてまいりました。

そして2006年、水田三喜男先生が創立した学校法人が擁立する城西国際大学が鴨川市の熱い要望に応え観光学部が開設したことを契機に、水田宗子理事長のもと、地域の方々とこの水田桜を守ろう、後世に伝えていこうと「嶺岡林道桜並木修復プロジェクト」を立ち上げ、毎年多くの桜を植樹し、桜まつりの開催、また、何よりこの鴨川の地に、創立者生家を起点とする嶺岡林道に、海外から

も多くの人々が訪れるようになりました。

創立20周年を迎えた本年、あらためて水田桜の起点を記す石碑を建立し、後世にこの偉業を記したい。そして、この自然豊かな嶺岡林道が俳人たちにとっても、さらなる文学的価値を生み出す場所であってほしいと願い、石碑とともに村井隆先生の句碑を建立することとなりました。

今後この嶺岡林道は、新たな価値をつくりだす鴨川市の観光名所としても、たくさんの方の観光客の皆さま、海外の皆さまが訪れてくださると願っています。

村井先生は、日本が経済大国として、国際社会の一員となるのに大蔵大臣を通算6回も歴任され、大きな役割を果たされた本学創立者水田三喜男先生に師事され、戦後の日本民間外交活動に永年従事されてきました。

特に、中国との関係は深く、日中友好発展

講演会
シンポジウム

水田宗子評論集出版記念シンポジウムを開催

日時…2012年4月14日

場所…学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

2012年4月14日、水田宗子氏の評論集『モダンイズムと（戦後女性詩）の展開』（思潮社刊）の出版を記念して、思潮社主催による

シンポジウムが「左川ちかから手渡されるもの——詩とジェンダー、その先へ」をテーマに学校法人城西大学の東京紀尾井町キャンパス

講演会・シンポジウム



嶺岡林道に「水田宗子記念碑」を建立しました



句碑の前で挨拶する村井隆先生（学校法人城西大学顧問）

に大きく寄与されています。そしてこの功績は、大連市、並びに珠海市から名誉市民の称号授与となって顕彰されています。句は、「どの道を ゆくも大連 花槐」

大連のどの道を通ってもアカシアが咲いているという風景を句にされたものです。大連への大きな愛情と句のもつ明るさが、心に強く響きます。

スで開催されました。

1911年2月に北海道に生まれ、24歳で夭折したモダンイズムを代表する女性詩人左川ちか。昨年は、この詩人の生誕100年にあたります。シンポジウムでは第1部において、著者である水田宗子氏（詩人、比較文学者、学校法人城西大学理事長）は、基調講演で『わたし語り』から自己表象へ——現代女性詩の『惨事のあと』の感性——と題して、茨木のり子、白石かずこら戦後女性詩人の作品を読み解き、底流で左川の詩につながっている指摘しました。

第2部では、藤井貞和氏（詩人・国文学者）、井坂洋子氏（詩人）、水無田気流氏（詩人）が水田氏とともに、左川の詩や評論集をもとに現代のジェンダーと詩、ジェンダーを超えた詩の表現などについて討論しました。左川ちかを起点として、茨木のり子、石垣りん、吉原幸子、高良留美子、



基調講演をする水田理事長



シンポジウムの様子



第2部の討論

●周辺図



アクセス インフォメーション

- 東京メトロ有楽町線 麹町駅 1番出口より徒歩3分
- 東京メトロ半蔵門線・南北線 永田町駅9a番出口より徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線・銀座線 赤坂見附駅D出口より徒歩8分
- JR中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩10分



白石かずこら戦後女性詩人の表現に、近代の「惨事」の生き残りとしての存在感覚、生き延びた者たちの「生還の途上の想像力」を読み取り、「女」から「個人」へ、「個人」から「個体」へ、「わたし」という存在感覚が不確かなになっていく時代において、ジェンダーの外部を志向する女性詩人たちが引き受けた自己表象の課題が浮き彫りとなりました。

シンポジウムには学生、市民、マスコミ関係者ら約160人が集まり、熱心に聞き入っていました。

また、シンポジウムに合わせて、4人のバネリストの著作の展示販売も行われ、多くの方で賑わっていました。

このたび城西国際大学では、日本最大の発行部数を有する英字新聞『The Japan Times』とのタイアップによる『JIU TIMES』を刊行しました。

Vol.1 (SUMMER 2012) では、創立20周年を迎えた本学の取り組みや、国際教育の紹介などを掲載しています。ぜひご覧ください。

出版活動

『The Japan Times』とのタイアップによる英字新聞『JIU TIMES』を刊行



『JIU TIMES』Vol.1 (SUMMER 2012)

学校法人 城西大学

城西大学／城西短期大学 **城西国際大学**

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL.03(6238)1300

学校法人 城西大学 <http://www.josai.jp/>

城西大学 <http://www.josai.ac.jp/> 城西国際大学 <http://www.jiu.ac.jp/>

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26
TEL 03(6238)1300 FAX 03(6238)1299